

山形大学「つなぐちから。」 社会共創活動推進プロジェクト  
実施報告書

報告者名	手塚 美春	
団体名および構成員 ※団体で活動を行った場合のみ記載 (欄が足りない場合は行を追加して記入してください。)	団体名 山形大学医学部看護学科 母性看護学領域	
	氏名	所属
	藤田 愛	山形大学医学部看護学科 教授
	鈴木 美春	山形大学医学部看護学科 助教
	手塚 美春	山形大学医学部看護学科 助教
	大場 穂帆	山形大学医学部看護学科 4年
	齋藤 七桜	山形大学医学部看護学科 4年
	安野 ななみ	山形大学医学部看護学科 4年
活動名	めざせ、子育てOne Team! 企業向け、出張子育て応援セミナー	
連携して活動を行ったプラットフォーム加盟機関名	米沢市	
活動報告	<p>《活動内容》</p> <p>R5.1から子育て世代がともに働く上司や周囲の職員を対象とした妊娠・出産・子育てへの理解を深める活動を企画、子育て世代を応援するセミナーの開催に向けて、企業・団体を募集した。米沢市より応募があり、R5.7に米沢市役所にてセミナーを開催した。内容は働く妊婦の心とからだ(妊娠中のみ)からだと気持ちの変化、就業期間中の妊婦健診等を説明)、妊婦体験、育休取得パパへのインタビューを実施した。セミナー終了後にアンケートを配布し、セミナーを評価、今回の活動を山形県母性衛生学会にて発表した。</p> <p>《実施した効果》</p> <p>事前申し込み15名、当日参加5名の20名が参加した。参加者は男性15名(75%)、女性5名(25%)であった。20代が最も多く、管理期の参加者もみられた。事前申し込み15名のうち13名(87%)は子どもがいなかった。終了後のアンケートでは、参加者全員がこの子育て応援セミナーの内容に満足しており、特に、育休取得パパへのインタビューの満足度が高かった。また、子育て応援セミナーに参加し、「自分やパートナー、周りの人のためにできる子育て支援を考えることができましたか」、「今後自分や身近な人が迎えるかもしれない子育てなどのライフイベントをみつめるきっかけになりましたか」について、全員が"そう思う"と回答した。</p> <p>参加者は子育てをしたことがない20代の男性が多く、育休取得パパの体験談を聞く中で、子育て中の生活をイメージし、子育て世代への思いやりの意識を持つことが出来た様子であった。このセミナーは地域社会のひとつである職場において、子育て世代とともに働く上司や周囲の職員の理解や配慮を深めることに意義があり、結果として子育てと両立しやすい職場環境の実現が見込める。今後も、企業・公共団体向けセミナーを開催し、妊娠・出産・子育てへの理解を深める活動に取り組んでいく。</p>	

実施スケジュール	≪スケジュール≫ ・令和5年1月～ セミナー（案）作成 ・令和5年3月 出張セミナーの開催企業・団体を募集 ・令和5年4月～6月 米沢市役所にて開催決定、打ち合わせ ・令和5年6月～7月 米沢市役所、庁内にてセミナー参加者募集 ・令和5年7月19日 米沢市役所にてセミナー開催（15：30～16：30） ・令和5年11月18日 セミナー開催報告 山形県母性衛生学会発表						
支援金の用途報告	合計 100,000 円						
	(内訳)	(品名・使途 他)	(数)	×	(単価)	=	(金額)
	交通費（バス、電車）	米沢市役所	3	×	3,000	=	9000円
	印刷費	ポスター作成	(3枚分)	×	2,114	=	2114円
	教材費	胎児人形	1	×	39,655	=	39655円
	教材費	スピーカー	1	×	46,161	=	46161円
	教材費	文具他		×	3,070	=	3070円
次年度の計画について	今回のセミナーの経験を活かし、子育てと両立しやすい職場環境の実現のため、今後も、企業・公共団体向けセミナーを開催し、妊娠・出産・子育てへの理解を深める活動に取り組んでまいります。						
本事業へのご意見・要望	本プロジェクトにより、セミナーを開催することができましたこと、感謝申し上げます。						
活動に関するHPや情報がございましたら、URLの添付をお願いいたします。							

1 この報告書はA4版表裏1枚以内で作成の上、メールに添付して提出してください。

問い合わせ先：山形大学総務部総務課社会共創推進事務室  
 TEL：023-628-4615 MAIL：yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp